

文月を迎えて

分所長 高木敏彦

いよいよ暑い盛夏を迎えました。皆様体調管理に努めて暑い夏をお過ごしください。

先月末の30日に第2フロックの皆様と碧南分所の藤浦、生田、高橋、高木夫婦の5名で、藤浦さんの畑と桃山町に植えた雌松の管理作業で草刈りを実施しました。小雨の降る中でしたが、却って暑さが凌げて清々しく作業を終えました。今秋には本苑祭典用の玉串として活用予定ですので楽しみにしてください。

さて、先月号で新分所役員の方を紹介しましたが、分所の菅事と総代を兼ねることが出来ないとのことで、総代2名を追加しました。鈴木明美さんと藤浦理子さんが先月の月次祭で承認されましたのでお知らせします。

自分の職を神業として

出口 直日

息子の気が弱くて信仰もふらふらしてきている、そんなこと少しも心配される必要はありません。表面は気が弱そうにおとなしくても、心のシンのしっかりした方がよいのです。朝夕の礼拝さえしていれば何よりです。お母さんのように、神さま神さまといわれなくとも、若いころは仕事に打ち込んで、朝夕、神さまに礼拝されることです。ただ礼拝は形だけでなく純真な心でないとはいけません。祝詞を奏上することも大事ですが、忙しい時にはそうもいってお

れない気持ちになるのも止むをえません。それよりも心から礼拝することです。これは、朝起きれば家の人に“お早うございます”というので、すから、神さまへの朝のあいさつをするのが当たり前です。忙しくて無茶苦茶に早口で祝詞をあげている人がありますが、あれはどうかと思えます。

医者では治らないような病気を信仰で治していただいた方は格別で、吐く息吸う息が有難いのですが、そうでないものは、他から神様の有難いことを強いられると却っておもしろくありません。

もともと人間は、普通に暮らせて都合のよい時は、神さまのあることを忘れていますが、どんな人でも信仰心は誰もが魂の奥にもっているものです。それで何かの時に、継らずにはいられなくなりす。それを頭から、神さま、神さま！と言われると、かえって反抗心をもやすことになりす。

要は、神さまを信仰している親が真面目でさえあれば、子は何かに困ったときに、親の信仰している神さまにすがります。何かの機会には、人は神さまにすがりたくなるものです。その機会のないことが、人間としては仕合せなのかも知れません。

あまり気にされずに、親は親のつとめをつくしていれば、いつかは、子どもの心の奥のものが芽生えてよい信仰にはいられます。信仰といっても、自分の職業を神業としてはげむところに信仰の要訣があると、私はおもっています。

寸葉集より

以上

新年度分所役員の方々

(再掲)

分所長 高木 敏彦 次長 藤浦 直
生田 吉亮

管事 藤浦 直(本苑総代) 生田 吉亮
岡本 眞 蒲生 和高 奥谷 建児

総代 鈴木 明美 藤浦 理子 樫山 美智子 澤田 多鶴子 高橋 さかえ

主な行事予定

7月14日(日) 午後1時半より

碧南分所月次祭 担当第3班

7月21日(日) 午前10時より

三河本苑月次祭・大本YINZ講座 第2フロック担当

7月27日(土) 午前10時より

少年夏季学級 三河本苑にて

7月28日(日)

誠心会万祥殿献勞

8月11日(日) 午後1時半より

碧南分所月次祭 担当第1班

8月17日(土)

直心会・みどり会講習会 きゆうりしろう油漬

7月の誕生者

おめでとうございます！

坂野 敦也 3日 藤浦 理子 6日 松村 裕子
11日 藤浦 茂夫 13日 村松 好久 14日
中山 恵子 15日 久野 明典 萩原 将矢 1
6日 斎藤 郷乃 17日 安藤 結仁 25日
三浦 やよ 28日 石川 勝久 29日